

第12回議会報告会に係る政策提言について

第12回議会報告会に係るグループワークにおいて、市政課題についてご議論いただきありがとうございました。いただいた政策提言につきましては、今後の市政運営に活かしてまいります。

1. 防災について

- ①多様な市民の声を把握するための市民アンケート調査の実施と各自主防災・防犯組織への調査結果のフィードバック

市民の災害への備えに関する意識や、自助の取組に関する現状等について把握し、本市における今後の災害対応に係る施策の資料とするため、令和7年度中に、防災意識アンケート調査を実施する予定です。

調査結果については、市ホームページや市民だよりに災害対応に係る啓発と合わせて公表するとともに、市自主防災・防犯協議会を通じて各地区の自主防災・防犯組織に周知することにより、それぞれの地域における共助の取組を進める上での参考として活用いただけるよう努めてまいります。

(危機管理監)

- ②各自主防災・防犯組織の地域特性を反映した備蓄強化支援

地区ごとの被災履歴、住民の人数や構成に応じ、何をどれだけ備蓄すべきかはそれぞれ異なるため、市自主防災・防犯協議会を通じて、各地区の自主防災・防犯組織に地域の状況や備蓄の現状に基づく今後の備蓄目標についてそれぞれ検討いただくとともに、その検討結果を市と各地区自主防災・防犯組織が共有し、地区の実情に応じた備蓄が進むよう支援してまいります。

(危機管理監)

- ③各自主防災・防犯組織の意思決定過程に女性を登用する意識啓発

災害発生時、各地区の避難所運営において女性の視点からの意見が正しく反映されることは非常に大切であり、本市においては、女性防災クラブなどの活動を通じ、女性の意見の反映が進められているところでございますが、特に、各地区の自主防災・防犯組織における女性の参画を積極的に促すことが重要と考えております。

現在、市内50地区の自主防災・防犯組織の会長のうち、女性は2名であり、各会長

を構成員とする市自主防災・防犯協議会においては、役員１１名のうち女性は理事１名に留まっています。

このため、まずは各地区の自主防災・防犯組織に対し、女性防災クラブ等の意見も採り入れつつ、女性が参加しやすい時期・要領で会合を開く等、女性の参画に向けた環境の醸成を図るよう促してまいります。また、自主防災・防犯協議会会長会議における懇談テーマに女性の参画拡大を組み込むよう調整する等、積極的に啓発を進めてまいります。

(危機管理監)

④児童生徒の発達段階や地域特性に沿った一貫性のある防災教育

日頃から災害時に備え適切な対応力を育むことが重要です。本市では、防災意識の醸成を図るため、防災教育として各教科での学びを通して実践的な知識や技能の習得に取り組んでいます。

また、地域ごとの防災課題を学び、学校・家庭・地域社会と連携しながら実践的な訓練を行うことが、より効果的な防災力を身につけることにつながると考えており、このような取組を継続し、安全で強靱な地域づくりを目指してまいります。

(教育部)

⑤自助意識向上に向けた日常的な情報提供と啓発の実施

各地区が行う防災訓練等の機会に、市の職員が出向いて開催する防災講話や、訓練時の現場での助言等を通じ、市民一人ひとりによる自助の取組について強化を図っているところです。

今後も、市ホームページ、しみんだより、SNS、防災情報メールに加え、掲示物による継続的な周知効果を狙うなど、さまざまな発信手段を活用し、例えばショート動画による携帯トイレの利用方法の周知など、自ら備えるべき事についてより分かりやすい方法で案内していくよう努めるほか、日常備蓄の意識向上や、災害発生に備えた家族会議の実施、避難路の確認などに関する啓発を引き続き進めてまいります。

(危機管理監)

２．地域コミュニティについて

①幼少期からの地域とのつながり創出に寄与する学校教育

本市では、平成２０年度以降、地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりを進めています。現在、学校と地域が相互に連携・協働するパートナーとして、学校運営や必

要な支援等を協議しながら、一体となって子どもの教育活動の拡充に取り組んでおり、このような活動に地域の大学生にも参画してもらうことで、地域による活動の一層の活性化を図っています。

今後も引き続き、地域の大人と子どもが繋がる機会を創出し、地域ぐるみで子どもを育てる力の充実と地域コミュニティの活性化を目指してまいります。

(教育部)

②学生と地域をつなぐ「キッカケ」「シクミ」づくり

本市では、学生交流を目的に「奈良の学生MeetUp」を年に複数回開催し、大学の枠を越えて地域で活動する学生団体の紹介や、連携促進の機会を提供しており、地域の方がご参加いただける回も設定しています。

また、奈良市公式LINE（2025年4月11日現在11万人登録。）を活用して学生団体主催の活動やイベント情報等を発信しており、地域の方に対しても有効な情報提供のツールになると考えております。

さらに、「奈良市地域に飛び出す学生支援事業補助金」を交付し、地域活性化や地域課題解決に取り組む学生団体を支援することで、地域で活躍する人材の育成を目指してまいります。

今後も、地域における課題解決や活性化を目指して、住民、学生、高等教育機関、産業界など多様な関係機関と連携し、学生と地域をつなぐまちの実現に向けて、取組を推進してまいります。

(総合政策部)

以上